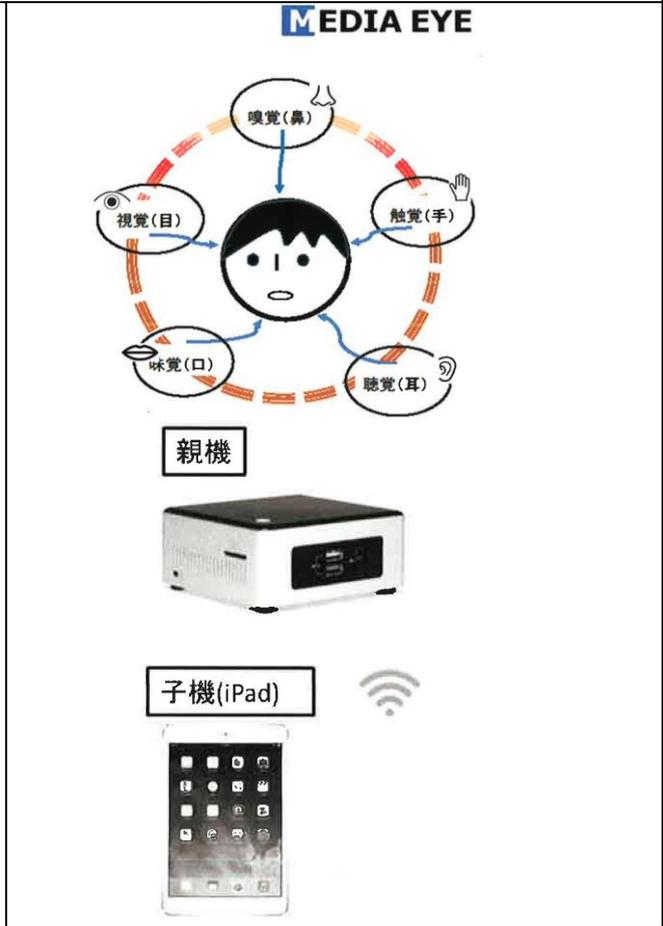


官能評価を使って感性価値を高めた製品開発を！ 官能評価の必須アイテム「J-SEMS」

時系列評価法を含め14種類の評価手法を標準装備。問題の作成、試験実施、データ解析まで可能な感性・官能評価システム。  
感性価値を高めるモノづくりのための必須アイテム。

官能評価手法としてTDS法、TI法、QDA法、SD法、一対比較法、順位法、採点法、格付け法、配偶法、識別法、コンジョイント分析、CATA法、TCATA法、時系列測定を標準装備。官能評価試験を管理・集計する親機と、試験の作成・実施・データ解析する子機をWi-Fiで接続したコンパクトサイズでどこにでも持ち運びが可能。また、子機のみでテストができ現場での試験が簡単にできる。子機の手操作は使いやすいインターフェイスで、複数台の子機で同時に官能評価試験が可能。子機のデータが親機に集められ自動的に数値化と集計される仕組みであり、インターネットや社内LANとの接続は必要ない。ネットを介してのデータ漏洩の心配がない。自動集計で各種特性値の算出や曲線表示、主成分分析、因子分析などの統計解析が自動的に行え、これらの解析結果や元データをPCにダウンロードもできる。価格は構成により異なるが60万円程度～。



用途 ① 視覚・触覚・味覚・嗅覚・聴覚など人の五感を使って感性価値を高める製品開発する分野や企業

技術移転 ① 形態 その他  
② 相手先 問わない  
③ 地域 国内に限る

実用化・情報 [試作・実験] 完了  
[製造・販売実績] 有り  
[技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等、サンプル  
[情報提供者] (株)メディア・アイ  
代表取締役 山岡 嘉剛  
[連絡先] (公財)りそな中小企業振興財団  
TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546

特許等 特許番号：特許第6127245号  
登録日：平成29年4月21日  
特許権者：(株)メディア・アイ  
発明者：山岡 嘉剛／梶谷 哲也  
名称：評価値収集方法